



これからの人生にカンバイ！（第20回お父さんお帰りなさいパーティの様子）



## お父さん お帰りなさいパーティ 実行委員会

### シニア世代の男性・女性の 地域デビューのきっかけづくりを

定年退職を迎えた人たちを対象に、地域活動への参加や新たな仲間づくりを後押しする「お父さんお帰りなさいパーティ」、通称「おとぼ」。仕事一筋だった「お父さん」が、定年後の人生の新たな一歩を踏み出すためにコミュニティ活動に参加しようとしても、地域との接点が少ない人はどうしたらよいのか分からないものです。そこで、年に1回開かれる「おとぼ」では、地域活動をテーマにした講演会や市内で地域活動を行う団体の紹介などを通して、参加者と地域との出会いの場を提供します。地域のボランティア活動から趣味、自然保護、国際交流など、さまざまな分野の団体が集い、参加者は自分の興味や特技によって選ぶことができます。

平成12年に武蔵野市で始まった「おとぼ」は活動20周年を迎え、「シニア世代の地域デビューのきっかけの場」として定着しました。武蔵野市での実績を受け、同様の活動は他の地域にも広がりを見せているそうです。

「おとぼ」は、武蔵野市民社会福祉協議会・ボランティアセンター武蔵野

のお父さんお帰りなさいパーティ実行委員会によって企画・運営されています。実行委員長の田中邦忠さんは、定年後の人生を見据えて参加した「おとぼ」をきっかけに実行委員会の活動をするようになった1人。「定年後、新しいことに挑戦したいと思っていたところ、偶然「おとぼ」の案内を目にして参加しました。特に男性の場合、何かきっかけがないと地域の中に入っていくづらいのかもしれない」と田中さん。

実行委員の1人、相川富子さんは、子育てを終え、手織りの講師などを務めるうちに実行委員会のメンバーに。「私のように子育てを終えて、新たな楽しみを見つけないと考える主婦も大勢います。『おとぼ』は、そうした女性たちも視野に入れて企画・運営しています」

定年まで勤める女性も少なくない現代、「お父さん」とは、地域との関わりが少なかった人たちの総称なのかもしれません。そんな「お父さん」を地域に「お帰りなさい」と温かく迎える場が、武蔵野市にはあります。

### お父さんお帰りなさいパーティ実行委員会

ボランティアセンター武蔵野による「熟年男性ボランティア講座」などを前身として、平成12年3月、「お父さんお帰りなさいパーティ実行委員会」が発足。実行委員は現在18名。実行委員会は原則月1回開催。年に1回の「お父さんお帰りなさいパーティ」に加え、そのフォローアップ事業として、原則毎月行う「お父さんお帰りなさいサロン」なども実施。



実行委員長の田中さん（右）と委員の相川さん（左）



おとぼサロンは毎月異なるテーマをご紹介します